

平成 25 年 3 月

## 国立大学法人茨城大学と株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホックの 提携協定締結

### 1. 経過と背景

- 水戸ホーリーホックは、大学が位置する水戸に本拠地を構え、水戸市と水戸市に隣接する自治体が協力して運営しています。
- 今回、水戸ホーリーホックから提案された連携は、地域貢献という同じような考え方に沿ったものであり、「地域に支えられ、地域に頼りにされる大学」を標榜する茨城大学としても可能な限り協力して、地域の発展性のある、実りある連携を目指すことを考えています。
- そのためには、水戸ホーリーホックと茨城大学及び水戸市を含む地域住民の三者がともに成果のある企画の実現を目指す必要があります。

### 2. 茨城大学の基本的方針

大学が掲げる大学憲章では、「市民や社会から信頼される大学であるため、地域と連携し貢献する大学」を目指すことと謳っており、活動の柱としてプロサッカーチームと協力することは、地域連携で貢献するとともに学生や受験生にも新しい活力が生まれるものと期待しています。

### 3. 提携事業企画の 5 つのテーマ

全般的な連携事業としては、次の分野を考えています。この中から実現性の高いものからスタートし、順次連携事業を広げていきます。

- 1) 知的資源、人的資源および物的資源の相互の活用に関すること。
- 2) 人材の育成に関すること。
- 3) 研究・教育に関すること。
- 4) 共同で実施する事業の企画および推進に関すること。
- 5) その他甲と乙が必要と認める事項に関すること。

#### 【具体例】

- 現在ケーズデンキスタジアムは、水戸ホーリーホックのホームグラウンドであるが、管理は水戸市が行っており試合等について優先使用できる形である。
- 水戸ホーリーホック選手及び茨城大学学生を対象としたスポーツ、健康、身体等に関する本学教員による講義あるいは水戸ホーリーホック経営者、コーチ、選手の講演等
- 本学学生のインターンシップについては、平成 24 度水戸ホーリーホックで 3 名が行ったが、内容の充実とともに人員等を拡充する。
- 大学と水戸ホーリーホックが連携し、地域発展のためイベント開催や環境活動への協力。
- その他地域と密着した様々な行事を模索する。